

平成24年度第1回番組審議委員会議事録

1 開催年月日 平成24年10月15日(月)

2 開催場所 CTY本社3階会議室

3 委員の出席

- ① 委員総数 6名
- ② 出席委員数 6名
- ③ 出席委員 小林慶太郎(四日市大学 準教授)
原真由美(民政委員)
服部洋明(メガネの隆明堂 店主)
白藤直人(四日市商工会議所 職員)
山路真一郎(山路工業 代表取締役)
藤井博光(ライブハウス フルハウス 店主)
- ④ 欠席委員 なし
- ⑤ 放送事業者側出席者 塩冶憲司(代表取締役社長)
館克俊(放送制作部部長)
藤田真里(放送制作部 リーダー)

4 議題

- ① 審議番組 番組名 Morning Wave
放送日 毎週月～金曜日 7:00～8:54
パーソナリティ 月・金曜日 山本浩之
火・木曜日 弓矢直美
水曜日 清水ゆかり

- ② 報告事項 エフエムよっかいちの新運用体制について

5 審議概要

エフエムよっかいち番組審議委員会 小林慶太郎委員長の挨拶に続き
弊社代表取締役 塩冶憲司が挨拶
その後、審議番組の視聴・合評が行われた

6 審議内容

委員長：番組視聴の前に番組概要の説明をお願いします

会社：今回ご視聴いただく番組はMorning Wave内で4月より開始したこの地域のニュースコーナーです。このニュースは株式会社シー・ティー・ワイで放送しているニュースエリア便と共同制作し、ラジオでも同様のニュースをリスナーにお届けするものです。ご視聴ください

番組聴取 Morning Wave 10月12日 金曜日放送分 ニュースコーナー

委員長：みなさんのご意見ををお願いします

委員：地域のニュースを毎日ラジオで聞けるのは良い取り組みで

委員：シー・ティー・ワイではいつ放送しているのか

会社：前日の夕方6時が本放送です

委員：ラジオが再放送的な役割となりそうだが、映像を見たいという要望があった場合はどうするのか

会社：シー・ティー・ワイではニュースエリア便のストリーミングサービスを実施しており、ラジオ放送でもその旨告知をしています

委員：共同制作とあるがどのような役割分担をしているのか

会社：両社で取材依頼や収集した情報を協議し、ラジオでは夕方の生放送番組でゲストを招き事前告知を実施、イベント等の当日取材はケーブルテレビで実施といった役割分担を行っている

委員長：このような取り組みは今後もふえていくのか

会社：今後も親会社であるシー・ティー・ワイと連携して、朝と夕方の情報番組により一層力を入れて放送していきます

また、起動にのれば現在生放送を休止しているお昼の時間帯に「みえるラジオ」としてラジオとテレビ、同時に取材して放送できるような形態の番組作りを目指していきたいと考えています。

委員：そうするとラジオの自由度がなくなってしまう、またはラジオならではの「文化的な番組」が減ってしまうのではないのでしょうか？

会社：ラジオの良さももちろん承知していますし、朝・夕の生放送の時間帯以外にも様々な番組を放送しています。しかし何よりもまず情報番組を充実させ、いかに聴取習慣をつけてもらい、さらには新規リスナーを獲得するかが現在の最重要課題と認識しています。それが災害時により多くの方に聴取していただくことにつながると考えています。

委員：今までは、フリーペーパーがあったため番組表をみることができましたが、今後番組表の告知はどうなるのでしょうか？幅広く告知する必要があるのではないのでしょうか？

会社：現在、他のフリーペーパーに掲載してもらおうなどの努力はいたして

おります。今後もより一層周知できるように努力をしていきたいと思
います。

委員長：告知もそうですが、すこシアピールがたらない若い世代を引き込むた
めにも、可能であれば番組審議委員会のメンバーに20代の人に加わ
っていただくのはいかがでしょうか？

委員：もしくは市内の高校の放送部員の意見をきいて取り入れるのもおもし
ろいかも知れません。

会社：ありがとうございます。ぜひ前向きに検討していきたいと思
います。

委員長：来期にむけての課題としてもぜひ検討していただきたいと思
います。

会社：貴重なご意見をありがとうございました。またご意見がございま
したらぜひご教授いただきたいと思
います。1時間半にわたり議論を
いただき、ありがとうございました。

次回開催日 平成24年11月26日（予定）

7 審議会の答申などに対してとった処置

特になし

8 記事の公示

エフエムよっかいちホームページにて公示